地域学部

地域学科 地域創造コース

募集予定 10人

わたしのAO入試（現 総合型選抜）

地域の現場に出て、実践的な学びに取り組みたい！

行政に興味があり、高1の頃から地域系学部のある大学を進学先に考えていました。当初は関東圏の国公立大学を考えていたけど、鳥大地域学部は「地域調査プロジェクト」など地域の現場で実習する機会が多く、地方大学ならではの魅力が満載。自分の興味・関心、学力や得意科目などもマッチしていたし、母の故郷で毎夏訪れていた場所ということもあり、第1志望に決定。生徒会活動など高校生活で取り組んだことを武器するのが一番確率が高いと思い、AO入試で臨むことにしました。志望理由書・自己推薦書の添削、1次面接の練習は主に担任の先生にお願いしました。AO入試は1人で対策できないことが多いので、周囲の力を頼ることが成功の秘訣ですね。

受験に役立つヒントは新聞・行政広報誌等をチェック

2次のスクーリングは「町内会」がテーマ。予想もしないテーマでしたが、祖母が民生委員をしており、自治会活動にも積極的だったので、自分なりの考えを展開できる糸口はすぐに見つかりました。どんなテーマが出るか分からないので、新聞・ニュース等を毎日チェックする基本対策は不可欠。行政の広報誌も併せて読むといいヒントになりそうですね。グループディスカッションは、当日初めてワールドカフェ方式のことを知るという無謀な状態でしたが、「攻撃的に話さない」「相手の意見を尊重する」「聞く姿勢を大切に」というセオリーさえ守れば問題なし。個人面接では厳しい質問を受けて一瞬ひるんだけど、ありのままの自分で答えることで乗り切りました。

4年 雨宮（あめみや） 優希（ゆうき）さん （神奈川県立麻溝台高等学校 出身）

MY FAVORITE "TOTTORI"

日々の疲れが癒される名湯ぞろい

私が暮らしている「吉岡温泉」をはじめ、隣町の「鹿野温泉」、県中部の「三朝温泉」「関金温泉」など、鳥取県は温泉天国！一日の疲れがとれるんですよね～。

全文はWebで！

第2次選考　選抜のポイント、面接・論文等の出題例等

●2022年度総合型選抜がどのように行われたかについて、学部・学科・コースの募集単位別にポイントや出題例を示したものです。
●2023年度総合型選抜が下記のように行われるということではありませんので、ご注意ください。

全体を通して求める力

自らの地域の発展に貢献できるキーパーソンに成長するための、地域の諸問題への高い関心や行動力、あるいは問題解決に取り組むユニークな発想力とリーダーシップなどが求められます。

スクーリング	講師（1名）が「資源としてのサメ」についての講義（70分）を行い、その後、受験者との質疑応答（20分）を行いました。
課題論文	スクーリングの内容に関連した設問（2問）に90分で解答するものでした。設問の内容は、スクーリングの内容を400字で要約するもの（問1）と、資源としてのサメの利用・管理の主体と方策を考えて600字以内で記述するもの（問2）でした。
グループディスカッション	8人ずつ3グループに分かれ、1グループあたり45分で討議を行いました。テーマは「地域資源を活用した地域活性化の方策を考える」で、スクーリングの内容をふまえつつ、一つ選んだ地域資源を活かして地域活性化を行うには、地域性を踏まえたどのような取り組みが必要なのかを、グループで議論しました。
個人面接	3名の試験委員による、1人あたり20分の面接を行いました。

●選抜方法と求める能力の関連

選抜方法	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体性・協働性	創造性
2次（書類審査）	○	○	○	○	○
2次（スクーリング）	○	○			
2次（課題論文）	○	○	○	○	○
2次（グループディスカッション）	○	○	○	○	○
2次（面接）	○	○	○	○	○